

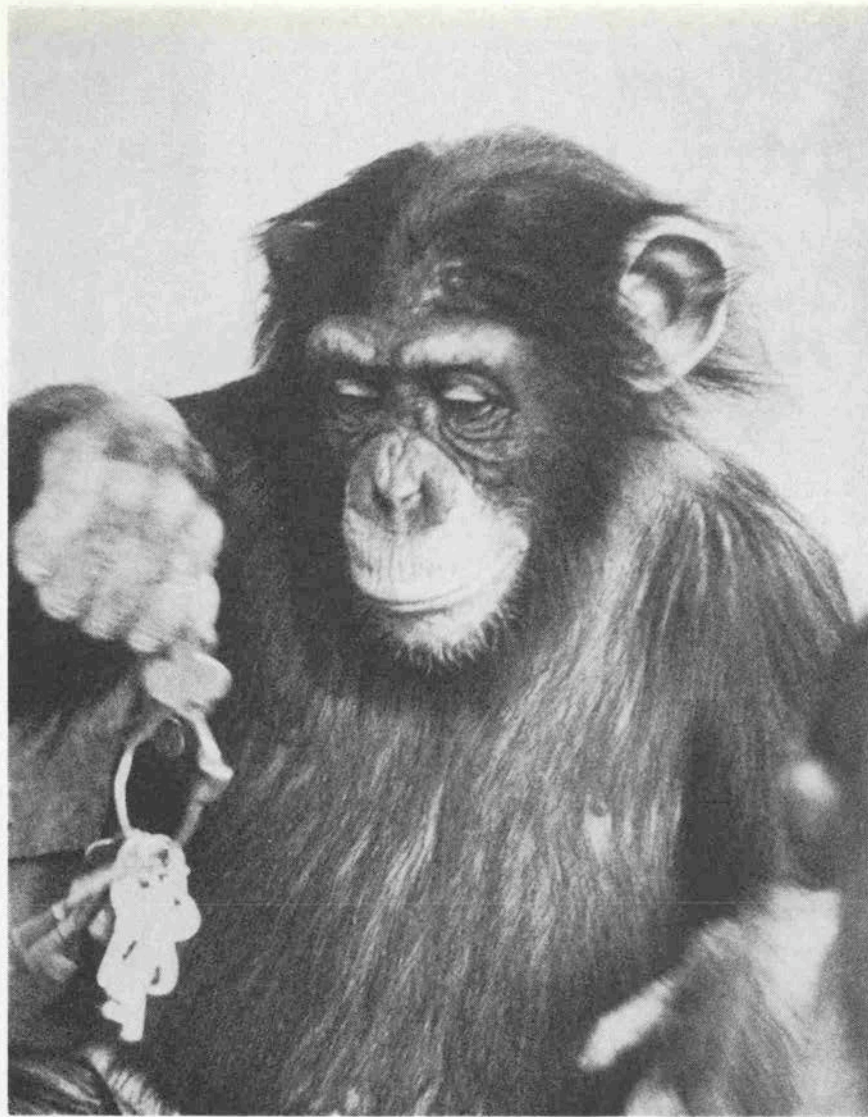
動物園飼育日記

— 214 —

亀井一成

〈王子動物園学芸員  
写真も〉

# 音を作るオランとチンパン



あの赤錆びたブランコのきしむ音が嫌いな私は、オランウータンや、チンパンジーのタイヤブランコにたっぷり注油をしたら、不思議なことが起こった。

あれだけビューンと大振りしていたウータンもチンパンもが、2〜3回の振りで、ひよいと着地、遊びが続かないのだ。何故だろう。スムーズに動くことで振子遊びが激しくなるのではなく、すぐやめてしまい次の遊びに移ってしまうのである。

「あれ？ あのきしむ音が消えたら遊びが変わってしもた？」

どの動物達も限られたオリの中ではいつしか生活の 패턴が決まっている。しかもそのひとつひとつにすばらしい音の生活をのぞかせているのである。オランウータン、オスのジュン君の場合は、運動場への吊戸を開けてもさっと出ない。吊上げられた鉄戸を見上げ、ごつい指で何度かガターン、ガターンと落ちてこないやろなあ“ゆすつてからくぐり出た”と思っていいたら、また戻ってきて、何やら格子をゆすつてガタガタガタ。隣りの

ウンコ掃除をしている私をさかんに呼びつける風だ。ちよつとゴミを捨てに前を横切ろうとしたら、今度はチュッ！ つい油断していたら、首筋に何やらビチャツと冷たいものが飛び見事に命中した。

素通りする私を呼びとめるため、ジュン君得意のツバキ鉄砲がとんできたのである。なおもジーと座りこんだまま、いつまでも視線を向け、またまたチュツチュツ！と口先で音の催促。無視“ようせん父ちゃん心の内を見抜いているジュンが心憎い…”。

「さあ、バナナか！」と入れてやってもボイと突き返してくる。「ちがう」というのだ。喉の奥の方で、キュウキュウ小声を出している。水洗いしようとホースをもった途端、ガタガタガタ、チュツチュツ！

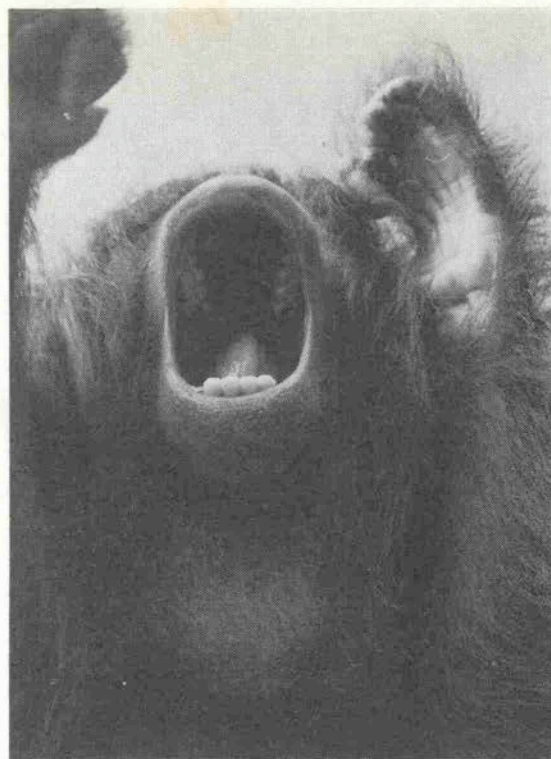
「そうか、水やったんか！」

アーン。大きな口をあけ、やつのこと“水を飲ませろ”という、やりとりが出きたら、「ウーン、ウーン。キュウ」と小声が返ってきた。「わかった、わかった」たったひとりの水をふくんだジュン。やつとのことこの父ちゃんと対話できた満足感いっぱい、そのあとこころげるところに扉をくぐって外に出ていった。

四つ足でくぐり出たジュンは二〇〇キロに近い巨体を二足で嬉しそうに歩きボーンとタイヤブランコを突きとばした。キーン、キーン、キーン、キーン。錆びたタイヤブランコの音が消えそうになると、またボイン突きとばしている。そんな遊びをやっている横で、コツン、コツン、コツン、コツン何やら叩たく音がする。

あつ！ またやつとる。メスの“ネネ”ちゃん、コンクリートの床が一部ひび割れして、僅かに浮

“水をくださーい、アーン”とネネ



いてきている。そこを手ではなくて、足のかかとで、コッソ、コッソ踏みつけ、さかんに音をたてているのだ。雨あがりの日、その踏みつけ遊びがまた大傑作。ピチャン、ピチャン、コッソ、コッソ、コッソが水入りでピチャン、ピチャン。しぶきが四散するのがまた面白く、それこそ何百回とやめることを知らない程続ける根気。その「ネネ」の眼射しは、じーとヒビ割れから飛ぶ水しぶきと音の謎に見入っている。そこへ、走りだしたジュンがタイヤを突きとばした勢いでポーソ。しゃがみこんでいたネネに体当たり。途端にジュンとネネの相撲が始まった。

「ガン、キン、コン、ボールから空缶へ」

一方、チンパンジー一族も負けてはいませんぞ、ドドーン、ドドーン、ドドーン。こちらは太鼓。出入口



ベンチ片手にクサリをカン、カン、カン

の鉄戸を走ってきてはえい、あのとび蹴りだ。

これをやりだすのはオスのジョニーと金と神ちゃんもだ。木や石を手に投げつける戦闘をやることはよく知られたこと。だが、もしそうした武器がないとなれば、全速で走り、その勢いで、バーンと飛び蹴りをやる。つまり、何んだ、やるんか、という脅し行動だ。

それがまた、蹴とばした直後の彼等のいかり肩が、勇ましい。毛を逆だてひととき腕力の強い所を見せる。つまりええ格好をしている。ブランコ好きはオラン以上。ゆらり、ゆらり振子に乗って、反動をつけ、えい、その勢いで、ひょいと格子にとびつく。地上に、そして檻の最上段へよじ登るさなか、カタカタカタ愉快な音をさせてる。何だと思ったら、ジュースの空缶片手に鉄格子に当てて、カタカタカタ、走り回っているではないか。今度はコンクリートの床に叩きつけ、激しい音の遊びを始めた。その音に誘われる他のチンパン達。それは音作りの伝達行動の始まりだ。チェリーの空缶遊びに金も秋も神ちゃんも息を殺して見入っている。この父ちゃんもいささか興奮気味。あつ、チェリーが手離れたその空缶を次は金ちゃんが、床を打たたき、格子に打ちつけ空缶演奏を真似しだしたではないか。

いやそれどころか、隣りの神と秋までが、カン、カン、カン。カラン、カラン、カン。あれだけボールが好きだった彼等は同じころんでも音のする空缶に明らかに遊びが移った。ギイー、ギイー、ギイー。チンパンのロープブランコにも油を差したら、やっぱりきしむ音が消えたことに不思議な顔をして止金をのぞきこむ神と秋ちゃん。『何で音がせえへんのや』おてんばの秋ちゃんも足も手も使ってガチャ、ガチャ、ゆるする音はしてもあのブランコのきしみ音がしない。諦めたと思え、今度はロープをたくり上げた。片手に持ったそのロープを隣りの檻に、差し入れ何だかゆすっている。「オーイ引っぱれ、」チェリーと金が東から、神と秋が西から、格子をはさんで正に縄引きを始めたのには参りました。



# ★神戸の集いから

★河口龍夫さん筑波大学へユニークなアーティストの河口龍夫さんが、筑波大学の芸術学系総合造形の助教として迎えられ、家族共々の大移動。

筑波大学では、学生達が大歓迎



河口龍夫さんを迎えて、大歓迎

トア・ロード画廊で、七月十九日～三十一日まで個展を開き、初日にパーティと送別会が開かれた。

元永定正、斎藤智さんらの作家をはじめ、伊藤誠、菅原亮さんらに、京阪神間の現代美術画廊のオーナー達約五〇人が相集まった。

★田中徳喜作品展オープニングパーティに集う

PLAYというタイトル通り、洒落たコラージュでもいつも見る人の目を惹きつけてくれる行動美術協会会員、田中徳喜先生の作品展が北野坂のギャラリー神戸時代で7月1日～30日まで開かれた。初日に催された



田中徳喜先生のPLAYの世界に乾杯

動美術の中石瑛先生をはじめ、文化振興財団の本多啓二さん、市役所市民局の室谷卓也さん、消防局の機関誌「雪」の編集長、窪田哲夫さんなど、たくさんの人々が集まり、田中先生の人々での歓談が閉会時間いっぱいまで続けられた。

★新鮮で、骨太い絵を描きつづける現洋会

ロマンの展開を目指し、新しい具



池上忠治さん親子を囲んで象絵画に挑戦しつづける「現洋会」(現代洋画研究会)

にパーティを、7月20日県民会館において開催した。現洋会顧問である角卓さんは、「10年目を迎え、みなさんからの応援が新し

いエネルギーとなれば」と語っていた。会場には、今回初めて審査員となった神戸大学教授池上忠治さんをはじめ、半どんの会の小林武雄さん、読売新聞黒川局長、同本部沢井次長、同美術担当の安黒正流などがお祝いに駆けつけた。

★「まぼろし紀行」出版パーティ納涼船上に和やかに開かれる

稲荷山鉄剣に刻みこまれた名を手がかりに「時間旅行」。学者を訪ね、古墳に佇み、推理の糸をたぐってワケノオミの正体と500年代の日本を探るユニークなノンフィクション「まぼろし紀行」の出版記念会が7月24日夕刻、神戸港めぐり



奥村さん(右より3人目)を囲んで和気藹々の船旅

の船上で開かれた。著者は毎日新聞神戸支局長の奥村邦彦氏。毎日懇話会高田会

## ♥小泉パーティご案内

### ●小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

### 神戸マリッジへ(無料)

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介します。

### 《協賛店》

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき  
紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや  
旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は  
事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510  
コミュニティサービス内番392-0200 小泉正巳

長、宮岡助役、生協の竹本専務理事、大高毎日新聞編集局長らの祝辞で出航。カラオケや林純子さんのトラソベツト演奏が続く快調な航海となり貝原副知事の「古代のロマンに酔い、瀬戸内の景色に酔い美酒に酔ういい会」という挨拶と共に無事着岸。奥村夫妻のデュエットも飛び出す和やかな会であった。

● THE ARIMA SPA ●  
IN SEP.

# 湯の街

## 有馬歳時記

有馬温泉・定山溪温泉  
姉妹提携10周年記念式典開く

有馬温泉が、北海道札幌市の定山溪温泉と姉妹提携をして十周年を迎え、その記念式典が八月三日、有馬温泉の兵衛向陽閣で行われた。この式典には、札幌市側からは一八名が出席した。

まず、金井清展有馬温泉観光協会副会長が提携への経緯を紹介したあと「神戸市、札幌市が手を取り合って、ますます発展することを祈念して止まない」と開会の辞をのべた。

水岡薫定山溪温泉観光協会会長は、「十年の歩みを振り返ると深い感銘を覚える。

この十年間で、経済状況も観光に対する志向も変った。難しい環境の中で、温泉観光地のあり方を模索し、いかに振興して行くか、重大な岐路に立っている。今こそ行政と民間のわれわれの協力によって、こういう難しいときだからこそ大きく前進するときとしたい。有馬温泉で今後のあるべき温泉観光の理想像を語り合

### 温泉姉妹提携10周年記念式典



ミス札幌（左側）とクィーン神戸に囲まれタイムカプセルを手にする  
風早会長（左）と水岡会長

えることを一つの節目として、今後ますますそのあり方を厳しく追求しながら両温泉が手を携えて力強く進んで行きたい。二十一世紀へ向って温泉観光をさらに発展させることを誓いたい」とあいさつ。それに応えて風早喜一有馬温泉観光協会会長は「この十年間、消費の落ち込みで宿泊産業は厳しくなっているが、両温泉とも若い芽が育って来ている。これからの十年間は、今までの十年間よりも変遷が大きいと思う。しかし各自が自励努力すれば観光産業は栄えると確信する」と意欲的なあいさつをした。

次にミス札幌から風早会長へ、クィーン神戸から水岡会長へ花束が贈られた。会場が華やかだったところで、奥田真弘有

敷地内から湧き出る  
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295(代)

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています

伝統と格式を誇る

兵衛  
向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501(代)

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり  
味に集う

Sunny Side up  
お楽しみ温泉・テニスクラブ

TEL (078) 903-1024

本造りの宿

御所坊

TEL (078) 904-0551



# ●そぞろ歩きの有馬●



清流が涼しげな

## 鼓ガ滝公園

これは、近衛摂政大臣が歌った一首だが、閑静な公園として訪れる人も多く、市民の憩いの場所となっている。

鼓ガ滝公園はロープウェイ有馬温泉駅の近くにある。六甲山から流れる谷川が落下して岩間にこだまし、ちょうど鼓を打つ音のように聞こえるので、この名がある。滝から流れる清流は、いかにも涼しげで、木蔭を散策すれば暑さも忘れそうだ。

馬温泉観光協会企画宣伝部長から、十周年記念事業の発表があった。  
記念行事の内容は、神戸・札幌両市長の2001年へのメッセージなどをビデオディスクに収録したタイムカプセル。  
宮崎神戸市長、板垣札幌市長が、2001年の神戸市、札幌市像を語り、有馬



記念式典の模様

小学校、定山溪小学校の十歳、つまり両温泉が提携を結んだときに生まれた児童が2001年への夢を作文にまとめ、また、現在の神戸市、札幌市、有馬温泉、定山溪温泉の姿をビデオに収録するなど多彩な内容となっている。またカプセル自体も直径三十センチ、深さ二十センチの立杭焼きとかなかりっぱなものだ。これらは有馬温泉の「ゆけむり広場」と定山溪温泉の定山寺に埋められる。  
両市長のメッセージや定山溪小学校の児童の作文が披露されたあと、ミス札幌、クイーン神戸の介添えで、両協会長の間でタイムカプセルが交換された。  
閉会の辞は梶木雅夫有馬温泉観光協会副会長。「今後とも両温泉で、若い世代が大きき提携の輪を広げて行ってくれることを期待したい」と言葉を結んだ。  
記念式典のあと懇親会がもたれ、和やかな歓談がつづいた。

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

旅は出会い  
ほのぼの心を添えて

政府登録(登録第78号)

●月光園

神戸市北区有馬町318  
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な  
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代



# ●生誕百年を記念して “幻の画家”金山平三の 全画業を紹介

★県立近代美術館開館以来、最大規模の展覧会

日本各地を写生旅行して数々の名作を残し、「日本近代の代表的風景画家」とされる金山平三。今年はその生誕百年にあたるが、金山は明治16年に神戸の花隈で生ま



下諏訪のリンク (1922)

れ、幼少年時代を神戸で送った。昭和39年に亡くなるまで80年の生涯を孤高独往の画業で貫き、自然の息吹を中間色の美しい色彩のハーモニーで描いて、神戸の生んだ巨匠として確たる足跡を残している。しかし、その一方、画壇の交わりを嫌い作品の発表にも慎重だったことから、その優れた作品に比して、ごく一部の愛好者以外には知名度が低かった。

しかし、昨年9月、県立近代美術館の新館に金山平三記念室が開館され、作品が常時展示されることで、徐々に再評価の機運が高まってきた。今春にはNHKテレビの日曜美術館に「幻の画家、金山平三」が放映され、佐竹徳さんが「金山さんにとって絵を書くことは、宗教家の祈りにも似て、周りの画家にとって立ち入りがない聖域であった」と思い出を語っている。

兵庫県立近代美術館では、金山平三生誕百年を記念して9月15日から10月16日まで、この「幻の画家」の美術学校在学期から晩年に至る全ての画業を精選し「幻の画家が描いた日本の自然・生誕百年金山平三展」を開催する。この企画は生前没後を通じて初めて実現された金山芸術の集大成といえることができる。

公開される作品は、初期の滞欧作「コンカルノの城壁」、初の文展受賞作「夏の内海」を始め、「下諏訪のリンク」、「祭の女」、「大石田の最上川」、「桂」、「溪流」、「メリケン波止場」、「茂木（長崎）」、晩年の滞欧作「ア



マルフィの海岸」など代表作を含む油絵約140点、「日本の重要文化財に指定されるべき作品群」（今泉篤男）と評されるユニークな芝居絵18点、ヨーロッパの風景を描いた水彩画、珠寶のミニアチュール、ガラス絵など全ての分野にわたっている。

主催は県立近代美術館、朝日新聞社、財伊藤文化財団で、従来、企画展の会場にあてている本館2階の展示室以外に新館の1、2階をも使用し、開館以来最大規模の展示会となっている。また会期中の9月25日、晩年の金山平三と親交が深く「金山平三伝」の著作で知られる歌人の飛松實さんの講演「金山平三夫妻のこと」が同館内で2時より催される。

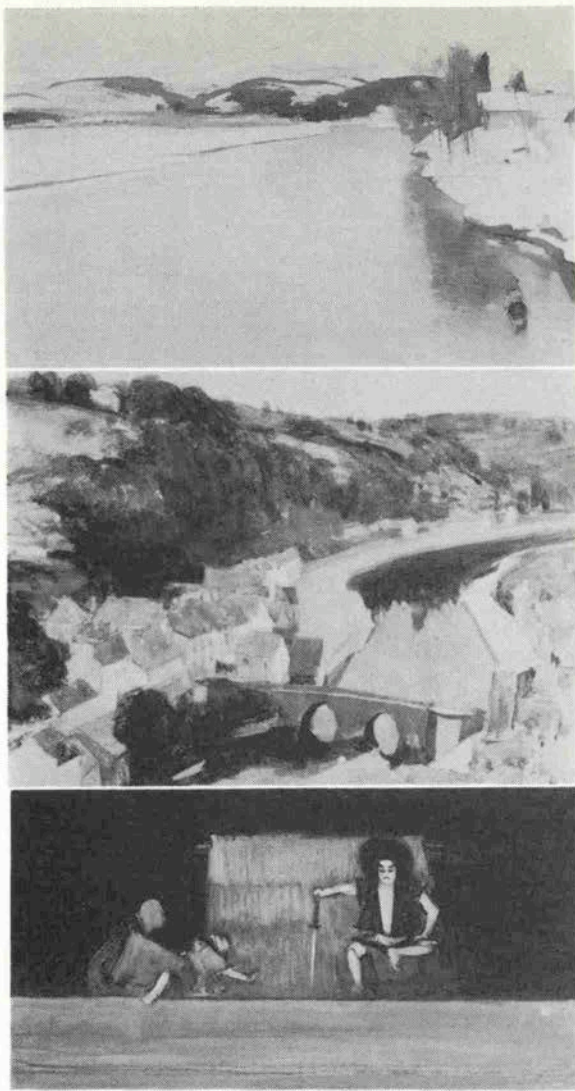
# ★次の10年に向かって前進する兵庫県立近代美術館

県立近代美術館と金山平三との関わりは深い。兵庫県政百年記念事業として同館が設立されたのは昭和45年だが、それより前に設立への大きな起爆剤となったのは金

山平三の多くの遺作が兵庫県へ寄贈されたことであった。開館から10年、「地方の美術館の時代」という表現がすっかり定着したが、県立近代美術館の最初の10年の活動はまさにその魁であった。次の20年という節目に向かって新たな展開を開始し、金山平三展以後も「19世紀ヨーロッパ風景画展」（11月3日～27日）、「アンソール展」（12月10日～84年1月16日）、「兵庫現代美術展・都市」（1月26日～2月19日）、「アート、ナウ'84」（3月3日～25日）と充実した企画展が次々と準備されている。

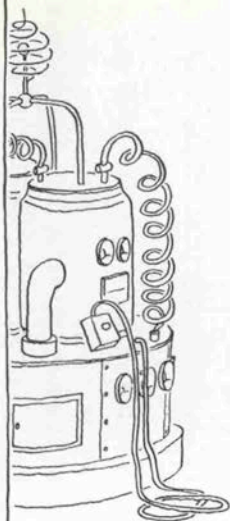
この8月1日には、知事在任中に自ら県立近代美術館を開館した金井元彦知事が第3代の館長に就任。さらに地域に根づいた個性ある美術館として結束した活動が期待される。

「幻の画家が描いた日本の自然・生誕百年金山平三展」、観覧料／一般700（団体550）、大・高生450（300）、中・小生300（170）、9月15日～10日16日、会期中に限り全館共通料金



上より、大石田の最上川（1948頃）、無題（橋）（1914～15）、  
＜芝居絵＞与一兵衛と定九郎

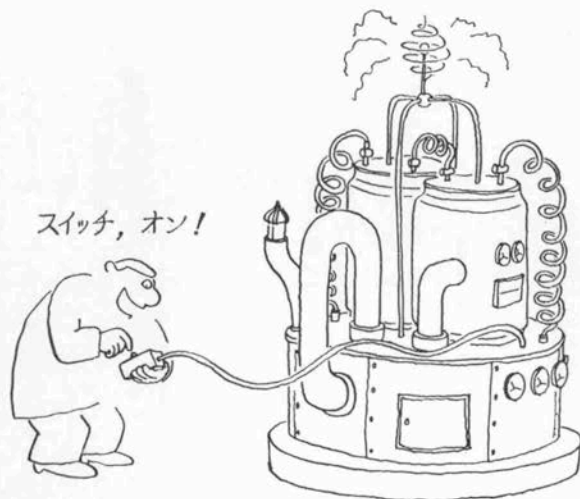




この装置から発せられる電波は、全地球におよぶのだ。  
そして、その電波に触れれば、人間以外のものは、すべて花  
になるのじゃ。世界は花畑となる。戦争も、公害も、受験  
地獄も、交通事故も、すべてなくなる。

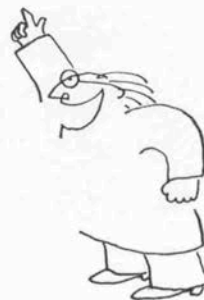
人類は、花畑のなかで、再び一歩からやりはじめるのじゃ。

1

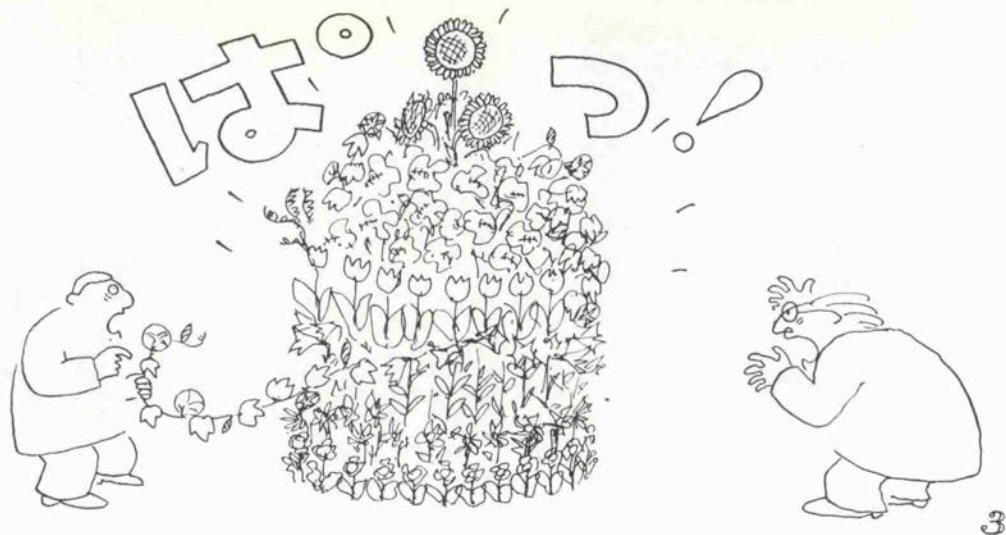


スイッチ、オン!

歴史的な瞬間じゃ!  
世界の平和は、今、  
ここから広がっていくであろう!  
スイッチ、オン!!



2



電波に最初に触れるのが  
装置自身だということに  
なぜ お気づきになられなかったんで？





# ●神戸を福祉の町に 〈117〉

## “こんにちはハーネス” 盲導犬普及キャンペーン

橋本 明／社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽

七月十六日に神戸文化小ホールで「こんにちは、ハーネス」という映画の完成披露試写会が開かれた。この映画は大手映画会社の配給ルートに乗らない独立プロ作品を中心に普及運動を続けている「映画センター全国連絡会議」の結成十周年を記念して製作されたもので、「ハーネス」というのは盲導犬につける胴輪のこと。事故で

中途失明になったピアニストをめざす女子大生と盲導犬との出会いをワンバクな小学生たちとの生活を交えて、明るく描いた作品で、この八月初旬には神戸文化ホールで一般にも公開され大変評判になった。小ホールでの試



柴田さんに県で初の盲導犬が贈られる

写会では、会場で西宮市の中途失明になった主婦、柴田年子さんに兵庫県では第一号の盲導犬の贈呈式も行なわれた。

この日柴田さんに盲導犬を贈ったのは「盲導犬普及ボ

ランティアグループ兵庫県支部」（広瀬勝代・代表世話人）のみなさん。

このボランティアグループは昭和五十四年十月に発足したが、今年の一月から兵庫県下の盲人に盲導犬を贈るために街頭募金、Ｔシャツ、冊子の販売、会員加入のよびかけ、募金箱の設置などの活動が続けており、これまでに約一五〇万円の寄金を集め、その資金で盲導犬の訓練を京都の関西盲導犬協会に委託し、そこで訓練を受けた盲導犬を贈ることになったものである。

同グループによると、兵庫県下の目の不自由な人は約



盲導犬普及の募金箱。協力お願いします。

九千二百人で、毎年約六百人が中途失明しており、約千頭の盲導犬が必要とのこと。日本全国では盲人の数は三五十万人にもものぼるが、現在使われている盲導犬はわずかに四百頭足らずしかない。わが国での盲導犬は昭和三

三年に国産第一号が誕生して以来、二五年経った今日でもまだわずかしいというの盲人福祉の遅れや盲導犬に対する行政、市民の理解の不足などもあるだろうが、盲導犬を育てるには産出から訓練まで長い期間と一頭当り約一五〇万円もの経費がかかるので盲人が個人で購入することは難しいことなどもある。従って全国に九カ所ある訓練所では年間予算の三分の二までは寄付金で運営され、訓練を受けた盲導犬は盲人に永久貸与をしている。現在、神戸市内では六頭の盲導犬がいるが、これは神戸市が年間二頭の盲導犬育成のための予算をとっており訓練所へ育成を委託しているからであるが、兵庫県は予算がとられていないために神戸市以外の盲人はなかなか盲導犬がもてないのが現状という。

数少ない盲導犬の使用者は、盲導犬を使うようになって、安心して外出ができ、仕事がしやすくなった(92・2%)、運動不足がなくなり日々の生活が明るくなった(78・5%)、付添いに負担をかけたり、気がねなく外出ができる(63・4%)、犬との友情がまし、生活が明るくなった(54・3%)、と盲導犬の役割を大きく評価している。

ところでこの映画のキャンペーンのために神戸を訪れた後藤俊夫監督は「二年前に国連で国際障害者年の十年間の行動計画が立てられた時、福祉について一休私に何が出来るだろうか考えた末、私の周囲に目の不自由な人がいましたので三〇人以上の中途失明者に取材し、それぞれの人たちの実話を素材にして作りあげた作品です。これは盲導犬をPRするための映画ではありません。子どもたちに小さい頃から福祉について関心をもってもらいたいんです。目の見えない人に対してどうい



「この映画で盲人や盲導犬の理解を」と語る後藤監督(右)と筆者(左)

手をさしのべていけるのか、その「やさしさ」を感じてほしいんです。映画のなかで、バスの運転手との会話、切符を買うシーン、横断歩道を渡る場面などにボランティア精神みたいなものを入れたつもりです。この映画をみて人間に対するやさしさや思いやりをいつも考えるようになってほしいし、いいものを見て感動する気持ちをもってほしいですね」と制作のネライを語った。スズメと少年たちとの心の交流を描いた作品「こむぎいろの天使」や、クマと人間の葛藤を描いた作品「マタギ」で芸術選奨の新人賞を受けた後藤監督の新作品であるだけに、その制作意図は観客に十分に伝えられるにちがいない。この映画を見る耳のきこえない人たちのために字幕スパーを入れたフィルムも現在制作中である。

盲導犬はまだその数がごく少ないためにも一般の人たちの眼にふれる機会とはほとんどない。そのために関心も低く、理解の不足もあって音楽会やレストランへの入場も拒まれ、タクシーや他の乗物への乗車も拒否されることも多いという。それは盲導犬だけでなく盲人への無理解や誤解にもとづくものによることも多いであろう。

この映画が多くの人々に見られることによって盲人の世界への理解や関心がひろがってほしいし、また市民の協力で多くの寄金が寄せられ、盲導犬を待ち望んでいる人たちに少しでも早く盲導犬が贈られることを望みたい。

☆「こんにちはハートネス」についての問い合わせは

「兵庫県映画センター」

〒六五〇 神戸市中央区北長狭通四丁目三三

私学会館九号 TEL 三三三・一六二〇〇

盲導犬普及キャンペーンについては

「盲導犬普及ボランティアグループ兵庫県支部」

〒六五一 神戸市中央区舞鶴町四一五 タガミビル二F

TEL 二四二・二三七



●兵庫界隈記 (29)

# 大仏つあんの境内を 再び文化創造の地に

## ★息の長い再建活動を

今春以来、能福寺の「兵庫の大仏つあん」の再建・復興が、市民の関心と呼んでいる。5月の神戸まつりで、実物大モデル（発泡スチロール製）の展示やパレードは、目に訴えるアビールとして効果も大きかったようだ。この盛り上がりつつある機運を大切にしようとして現在再建への準備が進められている。

ただ、この計画がすべて計算され練り上げられた後発表されたものではなく、

「羅針盤なしで大洋に船出した状態」（雲井世雄・能福寺副住職）であるだけに今後、種々の問題が山積みされていると言えよう。

現在、総代会及び世話人会が中心となつて、活動への組織作りを急いでいる。また、この度、市民へ協力と呼びかけるパンフレットもでき、配布中である。

何のために再建するのかという基本理念を明確にすることは当然だが、まずは大仏つあんが「存在」した事、能福寺の境内が果たし

た「市民文化への役割」などについて広く理解を求め必要があるだろう。

★大仏つあんの境内は子ども達のユートピア

能福寺の境内は、一年中終日賑わつたが、特に正月、彼岸、お盆等は大変な数の参拝者であつたそう。三船清氏（兵庫通信主宰）の著書「神戸の遊びと遊び歌」（のじぎく文庫・刊）や「兵庫通信第6号」に、その当時の情景が、生きいきと描写されている。盆、正月には「のぞき」が必ずかかり「地獄極楽」「須磨の仇浪」「不如婦」などの演し物は年によつて違つていたそうだ。

生姜漬、生姜糖、みりん粕、つぼ焼、こんにやくの入ったタコ焼きの小粒のような玉焼き、焼きするめ、大小のひょうたん型に入つた色染めのニッキ水、コッペン、竹こま、海ほおづき腰下げ、オニ・侍・テングの面、綿菓子、べつ甲鯨、手品売り、あぶり出し、口中笛、ハッカパイプ屋、肉天焼などの店が、よび声を上げて、子ども達を桃源境へと誘い込んだ。

また境内には、最も広い店舗を構えたおもちゃ屋、三原梅吉商店があつた。正



神戸まつりパレード中の模型



世界の洋酒  
世界のワインが  
楽しめる

株式会社

北野商店

本店 兵庫区中道通1丁目4-31  
TEL (078) 577-1181~3  
山の街店 TEL (078) 581-2377  
名谷店 TEL (078) 791-7171~2

慶びの家具



■本店／神戸市兵庫区塚本通2-1-1  
TEL (078) (575) 3120 (代)  
■東店／神戸市兵庫区大開通2-1-2  
TEL (078) (576) 0054 (代)

アヤマの豆カツ



株式会社 有馬芳香堂

本社・工場 兵庫区下沢通7丁目1番2号  
TEL (078) 577-3581  
直売店 三宮支店、そごう店、豊水駅  
ショッピングセンター、  
大丸新長田店（ジョイプラザ）

お好み焼

美丁  
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル ☎575-7913  
平日・PM3～PM10:30  
金土日・AM11:30～PM10:30  
水曜日定休日

月には高級品のお市人形、羽子板は上段に飾られ、台の上には子ども相手のオカタン、ままごと用具、ピストルなどが並べられた。隣接の勸商場には、レモン水や菓子の自動販売機なども見られたそう。

今日の「毎日がお祭り」のような生活とは異なり、盆や正月に憩いを求める暮らしが伝わってくる。

常設の芝居小屋では、かつて上方芸能を支えた渋谷天外や砂川捨丸氏らも修業にはげんだという。

また神戸に外国観光船が入港すると、境内は青い目の観光客であふれたそう。

# うご よレンダ ひカ



## ★入院患者の

心の安らぎに役  
5月に行われた神戸まつりで、参加者をあつと驚かせた兵庫の大仏つあんの実物大模型。実は発泡スチロール製の青銅色の塗装したもの。発泡スチロールといっても、座高7・2M、幅5・6Mともなれば重さも300

## ★大仏つあんの境内を

21世紀文化創造の拠点に  
能福寺の境内は、庶民の憩いの場であり、市民文化発展の地であり、ひいては国際交流の一拠点でもあったという点で、歴史的な意義を持っていた。

そして、それを強力に推進したのが、兵庫の大仏つあんであったと言える。

近年、校内暴力や家庭内暴力など「心の荒廃」に起因する社会問題が、マスコミを騒がせている。兵庫県

の家庭問題研究機構設立構想の例が示すように、行政

## キログラムという。

ジャンボなだけに、神戸まつりの後の「身受け先」が注目されていた。

滋賀県などの県外からも申し込みがあったが、社会福祉に役立てたいとの趣旨により、市内西区の「神出病院」への「ご遷座」が決定。

同病院は、入院患者300人のうち、約2割がお年寄りであった。「心の安らぎ」という治療効果が大きい期待されている。

世紀は、この問題を抜きにしては語れないとも言える。

そのためには、様々の角度から、すべての分野に

たり、数多くの人々とともに、この問題を考察し、取り組んでいく事が重要である。

21世紀にむけて市民の心の安らぎの場として、新たな文化創造の拠点として、再び能福寺の境内が復活する事を大いに期待したいと思う。そして、それを推進するインパクトとしての役割をはたすのが「大仏つあん再建」であると言える。

□能福寺／兵庫区北逆瀬川町1-39 ☎652-1915

## ★「肉天」を

知ってますか？

鉄板の上にメリケン粉を薄くのばし、スジ肉の細切れ、赤い干エビ、鰹節の粉、キザミ葱などを指先につまんでばらまき焼く。ソースを塗って食べるが、その味抜群とか。

そうした下町庶民の生活史を探るべく、三船清氏は生れ育った兵庫を歩き「兵庫通信」を発行している。また商店街図の復元にも情熱を傾けている ☎851-2691

ORIGINAL TABI **Tabifuku** タビ福

本店 塚本通3丁目 ☎575-8868  
センタープラザ西館2F ☎332-3500  
センタープラザ2F ☎332-2767  
メトロこうべ・神戸タウン ☎341-0439  
さんプラザ3F ☎391-3720

株式会社 タビ福  
ローソン柳原店 ☎576-0330

香り一番 味一番  
サクリうまい

と いち  
一の  
奈良漬

120種類もの豊富な  
かねてつ製法で、さまざまな味  
お楽しみください。

味の  
かねてつ

明るい色と  
まろやかな味

新発売 OLIVER MILD

新鮮野菜とワインをベースにした  
こんなクリーンな、色でまろやかな味の  
ほんかんファーストにがはした。

オリバー  
マイルドソース



創設50周年を迎えて

常に時代にマッチした  
ヘヤーファッションを

吉田美津枝さん（みどり美粧院・みどり会々々長を訪ねて）



若々しく語る吉田美津枝さん

昭和6年に店を創設し、いちはやく、アメリカのパーマネント技術を取りあげ、西洋の諸技術の養成にも惜しみない努力を積んできた神戸の美容界の老舗である「みどり美粧院」。生田神社前に本店を構え、美容だけでなく婚礼にも力を入れているみどり美粧院を、創設以来50年間、努力と誠意をもって支えてこられた「みどり会々長」吉田美津枝さんにインタビュー。

——美容界に入られたのはどんなきっかけですか？

吉田「女学校を出て、すぐに家庭に入ってしまうよりは何か仕事をやりたいかったんです。美容がファッションデザイナーの方に進もうと思っていたんですが、美容の方に知人の紹介で進み、東京の芝山みよか美容学校に入學しました。もちろん、50年前のことですから、両親の反対を押し切ったことなんです（笑）」

——初めてお店を持った頃、世間の美容への関心は？

吉田「昭和6年頃で、今の三宮金沢病院の場所で開いたんですが、戦争で焼けてしまい、終戦後は、そこう百貨店に入れていただきました。その当時、美容院などというものは少なく、大変流行りましたね。今現在の自分の仕事が上向きにいつているのは、古い時代からいち早く西洋の技術、いわゆる「パーマネント」を取り入れ、そういうものを多くの人々に、教え続けてきたことにあるんでしょう。それこそ、今NHKで放映されている「おしん」のように、早くから洋髪に切り換えたことがすべてプラスになったんでしょうね。みなさんご存知ないでしょうけど、「パーマネント」が日本で初めて取り入れられたのは神戸なんです。神戸の紺谷すみ子さんという方が創始者なんです。アメリカから取り入れた機械も、使用書が英語で書かかれているんで、英語を勉強しながら使っていました。最初は電気パーマで、パーマ代は高くて8円、安くて4円50銭でした。」

——「みどり会」では、技術者の育成に力を注がれていますね。

吉田「35年間続いているみどり会ですが、私がアメリカからとり入れたパーマネントの技術などを教え始めたことから発足したんです。今では関西を中心に、約千人のヘア・デザイナーの会員を擁するものになりました。毎月の講習会はもちろん、大きなコンクールなどもさかん

に行なっています。」

— 先生は、全日本婚礼美容家協会理事でもあり、婚礼の方にも力を入れておられますね。

吉田「はい。昭和38年にちょうど娘が、アメリカの大学を卒業するというので、それに合わせて二人で世界一周に廻りました。その時、長い間自分の職をあげるのがいやで、これを機に兵庫県美容組合理事長を円満退職することになりました。この旅行のあと、婚礼の方へ入っていったんです。」

— 技術的に世界の水準と比べていかがでしたか。

吉田「20年前前は、かなり技術に差がありました。それでも、日本人は熱心で、真似上手です。すぐに世界の水準以上になって、今では十分世界にも通用します。婚礼に限らず、美容全体についての日本の功績は大きいですね。」

— みどり美粧院のこれからの抱負は？

吉田「おかげさまで、みどり美粧院、ロイヤルみどりを



上/すっきり整理された店内 下/男性スタッフの店「GARÇONNE」

あわせると、神戸、大阪、京都の各地域に13店舗を持つことができました。神戸のポートピアホテルでは、娘もがんばってくれてますし、私も、まだまだ娘に負けないようにと思っております。私自身が、気持ち若く持ちつづけ、常に時代にマッチしたみどり美粧院にしてゆきたいと心がけています。」

— 先生は、女性の美しさとは何だと思われますか？

吉田「本当の美しさというのは、その人の気持と教養によって現われるのだと思います。女性にとっては、時代にあった、オシャレは最少限の身だしなみです。表面的な美しさではなく、内面から出てくる知的なものが、女性を輝やかせるんでしょうね。話をしていると本当の美しさが出てくるともいえますよ。」

— これからの美容師さんに一言。

吉田「美容師になろうと決心がついたときが、一つの努力の結晶です。それから、よかれあしかれ自分の選んだ道なんですから、努力と根気しかありません。」

— 先生は、お仕事で何が一番喜びを感じられますか。

吉田「やはり、きれいなお嫁さんが出来上がったときですね。花嫁さんを創ることができるというのは「幸せな仕事」だと思いますね(笑)。」

— 最後に「モットー」をお聞かせ下さい。

吉田「いつも言っているんですが、「努力の継続」です。その時だけの努力ではなく、絶えず続けることです。人間、忍耐と誠意を持って続けないと、決して本物にはなりません。」

それから、仕事を続ける上では、若い人に負けないくらい頭の回転を早くし、老けてはダメですね。年齢なんて決して考えないことですよ。(笑)」